

# 平成 24 年 9 月定例会で自民党県議団の提案した条例・決議・意見書 1

新潟県議会自由民主党議員団

## 「新潟県歯科保健推進条例の一部を改正する条例」

平成 20 年に我が党発議で「新潟県歯科保健推進条例」が成立したところである。

その後、国で歯科疾患の予防や口腔の保健に関する調査研究など歯科口腔保健の推進に関する施策を総合的に推進するため、「歯科口腔保健の推進に関する法律」を平成 23 年に制定したことを受けて、本県条例との整合を図るとともに、さらなる県民の歯・口腔の健康の向上を推進するため、同条例の一部改正を提案。

⇒ 全会一致で可決・成立

## 「北朝鮮による日本人拉致事件の一刻も早い解決を求める意見書」

北朝鮮が拉致を認め被害者が帰国してから 10 年となるが、その後、全く進展がみられない。日本人の遺骨収集や墓参なども重要な懸案事項ではあるが、一日も早く拉致事件の解決を図るよう強く要望する本意見書を提案。

⇒ 全会一致で可決・成立

## 平成 24 年 9 月定例会で自民党県議団の提案した条例・決議・意見書 2

新潟県議会自由民主党議員団

### 「2020年オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会の東京招致を支援する決議」

平和と人類の調和を希求するオリンピック・パラリンピックを東京で開催することは、震災から立ち直った姿と支援に対する感謝の気持ちを示すとともに、スポーツの持つ力が困難に直面している人々を励まし、勇気づけることを世界に発信する絶好の機会でもあることから、本決議案を提案。

⇒ 賛成多数で可決・成立 共産党反対。

### 「尖閣諸島に係る領土の保全に関する意見書」

尖閣諸島4島の国有化は、当然のことであるにもかかわらず、中国は不当な領有権を主張し、様々な対抗措置を打ち出してきている。

日本の国家主権を断固として守るため、早急に万全な対応を行うとともに、歴史的にも国際法的にも我が国の固有の領土であり、領土問題は存在しないという明確な事実を国際社会に示す外交努力を行うよう強く要望する本意見書を提案。

⇒ 賛成多数で可決・成立 民主党、社民、共産党と一部無所属議員が反対。

## 平成 24 年 9 月定例会で自民党県議団の提案した条例・決議・意見書 3

新潟県議会自由民主党議員団

### 「韓国大統領に謝罪と発言の撤回を求めるとともに対韓国外交の見直しを求める意見書」

韓国大統領は、竹島に不法上陸したばかりか、天皇陛下が訪韓するなら謝罪しろと述べるなど、極めて礼を失っており、到底容認できるものではなく、看過できない。

謝罪及び撤回を強く求めるとともに、国際司法裁判所への提訴にとどまらず、日韓通貨協定更新の見直しなど、対韓国外交の総合的見直しを進めるよう強く要望する本意見書を提案。

⇒ 賛成多数で可決・成立 社民、共産党と一部無所属議員が反対。

### 「早急に国土の強靱化を図ることを求める意見書」

日本列島は大地震活動期に入ったとも指摘されており、南海トラフ巨大地震では 32 万人規模の死者・行方不明者が発生するとシュミュレーションされている。

大規模災害に備えて、我が国経済社会活動の持続可能性を確保することは、喫緊の重要課題である。安全・安心という役割を發揮しながら、公共投資により需要拡大と雇用促進を図り、デフレ脱却の切り札となる、国土の強靱化を早急に行うよう強く要望する本意見書を提案。

⇒ 賛成多数で可決・成立 民主党、社民、共産党、公明党と一部無所属議員が反対。